

EPMA による湾曲試料のマッピング分析

鉄鋼材表面腐食のマッピング分析



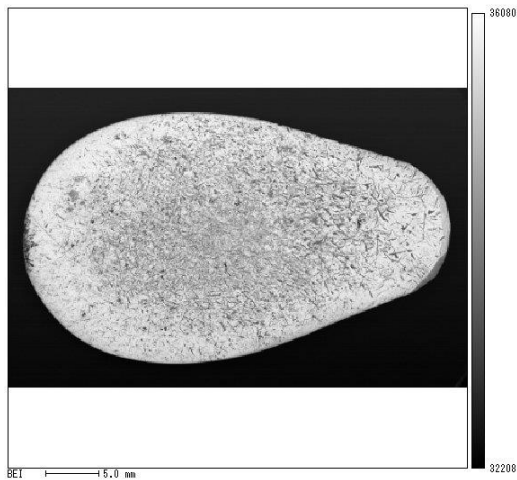
試料の外観



側面から観察

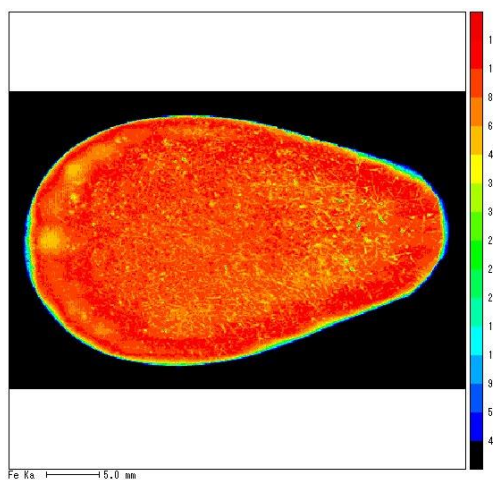


中央と端部で約 3mm の高低差

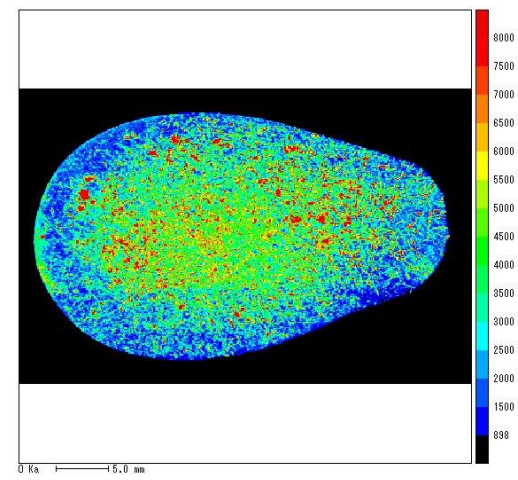


反射電子組成像

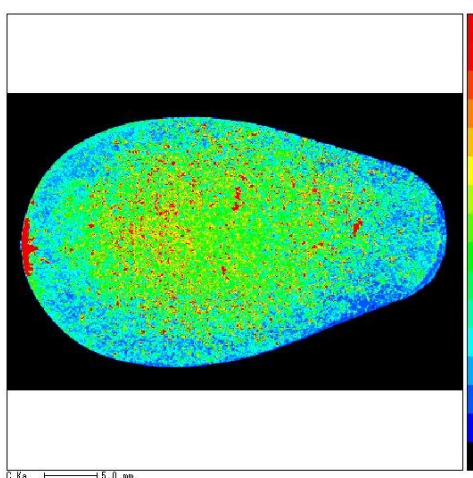
10mm



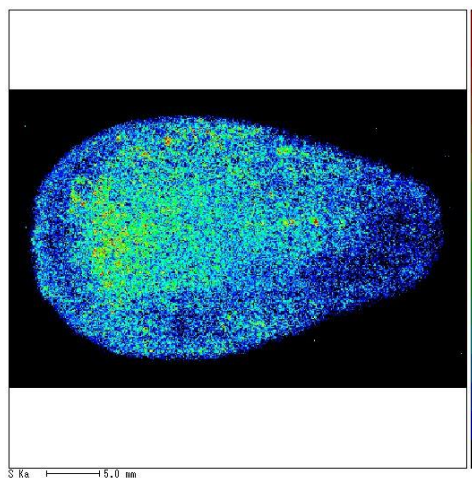
Fe



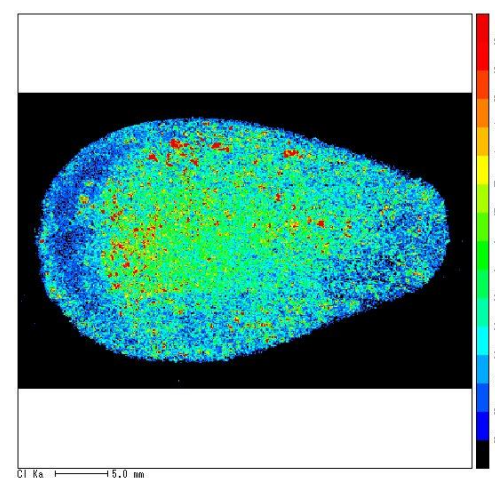
O



C



S



Cl

試料中央部で酸素が多く、腐食が進行しています。
腐食促進元素の硫黄や塩素が検出されています。

凹凸が大きい試料は、
試料高さを補正しながら測定することによって、
マッピング分析をおこなうことができます。